

今年も、去年と同じ短い夏だった。そして、天候不順と猛暑、自粛、天災、じっと耐えた夏だった。

分かってはいたのに、普通は考えられない五輪開会と同時に、爆発的に感染拡大。

テレビは、このチャンネルも鬱陶しいくらいに、勝った、勝ったと、同じ場面の繰り返し。

お祭り騒ぎをして、自粛。

国民の税金を大量消費し、

オリンピックは去ったが、

コロナは去らずに大量増加し、

猛威をふるっている。

夕暮れには、もう蝉が鳴いて

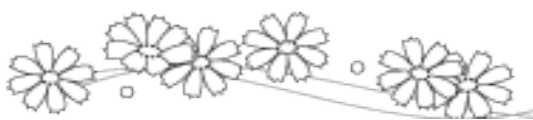
夏の終わりを告げている。

秋、美しく装いを变化させる自然の中で、

大いに生を謳歌し

子ども達が充実した生活をして、

大きく成長する実りの秋にしよう



行事予定表		
1	水	アルファ米を食べよう (防災の日にちなんで)
6	月	給食費引き落とし日(3歳児以上)
15	水	おべんとうデー/リトミック
16	木	カレーの日
28	火	通報訓練(園内)
29	水	公開保育
30	木	誕生会

ぞうぐりーぷのちびっこお楽しみ会

・「よるまでお楽しみ会」に向けて、ぞうぐりーぷの子ども達はぞうぐりーぷの旗や、キャンドル作りを行い、当日を楽しみにしていました。お揃いのぞうぐりーぷTシャツを着て腕にはきりんぐりーぷ手作りのお守りをつけて、サマードーム作り・すいか割り・夕飯作り・宝探し・花火等を楽しみ特別な一日となりました。

運動会をしよう

・先日、お知らせ致しましたが、11/6(土)に予定している運動会ですが、コロナ感染を考慮し、今年度も3歳児以上で実施致します。参加人数も各ご家庭2名までとさせて頂きます。また、詳細は後日お知らせ致します。にじぐみ、ひかりぐみ、ほしぐみの子ども達は、運動遊びを日々の保育の中で行っていきます。

今日の予定の中から...

●アルファ米を食べよう。(1日)
・今年も、防災の日(9/1)にちなみ、アルファ米のおにぎり(にじぐみ・ひかりぐみはご飯)とけんちん汁を食べます。離乳食の子は、備蓄品のお粥を食べます。4・5歳児はアルファ米がご飯になる所を見て、おにぎりは給食室で作ったものを食べます。

●おべんとうデー(15日)

・まだまだ暑い日が続きそうですね。お弁当の中身にも気をつけ、よく冷ました後に、保冷剤を入れて持たせてください。くれぐれも、要冷蔵のものやコンニャクゼリーは持ってこないようにお願いします。

●カレーの日(16日)

・4・5歳児は、エプロン・三角巾の用意は子ども達が出来るように見守って下さいね。

ぞうぐりーぷは、それぞれの役割をお仕事としてしています。自分の仕事を全うすることで、自信に繋がって欲しいと願っています。

●通報訓練(28日)

・今年も、園内で通報訓練を行います。

●誕生会(30日)

・今月は、沢山の先生達が、動画に出演します。どんな内容かは、当日のお楽しみ！
☆今年の十五夜は「9月21日」です。
・是非、お子さんと一緒に夜空を見上げ、おつきさまが見られますように！



主体性・自主性を育てる...

見守るじじい、待てるじい

みんなが育てている二十日大根を、Sちゃんが引き抜いてしまった。注意しても、見向きもせず、畑から出るように言っても知らんぷり。実力行使して、畑の外に出すと、大暴れで私を蹴ったり、引つかいたりした。七夕の集まりの頃には、おとなしくなっていて、ニコニコ笑顔で私に寄ってきた。その姿を見て、反省した。二十日大根がどの位育っているか、見たかったので引き抜いてしまった。しかし、抜いてはいけないうことを注意され、反省の葛藤の途中で、強制執行されたことがよほど悔しかったのではないかと。あんなに、子ども達の主体性を大切にしよう。だから、子ども達が自分で考え、自主的に行動するまで待つ、見守ってほしいと言っていたのに、待てなかったことを深く反省した。

▼昨年の年長児が卒園する前に、幼稚園で何が一番楽しかったかと聞いたところ、思いがけない答えが返ってきた。運動会、遠足と言うと思っていた。なんと、子ども達だけの夏祭りとのことだった。子ども達だけで行った昨年の夏祭りは、子ども達にも、先生達にも、大好評だった。子ども達が主体で、自主的な活動にしようとして、考えた。できる限り子ども達が自ら仕事に取り組み、実体験の中で、いっぱい失敗することを、しっかり見守ることにした。▼年長児が中心になって、お店の看板作り、ダンボール製のレジスター作り。カキ氷屋、ジュース屋、焼きそば屋、ソーセージ屋...各種ゲーム屋、ヨーヨー屋等など、それぞれの店で係分担任をした。

キッズニアより、立派な子どもだけの夏祭りだ。まずは年少、年中児が400円を握りしめ、お店を回る。保護者の皆様に伝えたい面白い話がいっぱいあるが、お伝えできるのは、ほんの一部。

▼年少児Aが、焼きそば屋で、「焼きそば、ちようだい」と、年長児が「150円！」と言っても、また「焼きそばちようだい！」と。「だから、150円だよ、お金出しな」と、Aはさらにきつい顔で「やだ、お金はお家に持って帰る」とお金を出さない。後から来た子が、次々とお金と交換に、焼きそばを買って様子を見ていた。暫くして、やっと理解したのか、サイフを開けて「どれ？」と中を見せる。「いいか、これが10円、これが50円、これが100円」と説明を受け、150円を教わり、今度は笑顔になって納得して買っていた。▼年中児のB、開始と同時に、興奮して走り廻り、ゲーム、かき氷...そしてヨーヨーを6個も買い、ヨーヨーをぶら下げ「すごいでしょ？」と意気ヨーヨー。お屋近くなり、お腹がグーグー鳴る頃には、お金を使い果たし、スッテンテン。食べる物を買うお金がなくなり泣きべそ。これも体験。何に使うか、計画的にお金は使わなければならないこと、行動の予測、想像力の必要性を痛感させる事が大切。しかし、放っておくわけにいかないので、「どうしたらいい？」と考えさせた。彼は反省し、しばらく考え込んでいた。そして「ヨーヨーを半分返して、お金を返してもらおう。」と、ヨーヨー屋さんに交渉に行った。▼北竜台では、今年は夏休み前の保育の中に組み入れ、お店やさんごっここの延長として行った。しかし、時期が悪かった。当日は大雨。それでも子ども達は楽しそうだった。保護者の皆様には、子ども達の姿を、動画配信した。▼子ども達の主体性、自主性、自発性を育てるために、沢山の体験をさせましょう。何でもやらせて、失敗させてあげましょう。それが力になります。

理事長 浅田 精利

